

(1) 「くまもと教育の日」フォーラム

日時／11月1日(木)
場所／熊本市市民会館
内容／本県の教育の方向性についての講演
対象／保護者、教職員、教育関係者



標語：植木町立吉松小学校
2年 荒木たくとさん
原画：県立鹿本商工高等学校
3年 山本光紗さん

(2) フォトコンテスト

題材／「くまもと教育の日」の取組みをはじめ、
様々な教育活動の取組みを題材とする。
募集期間／12月28日(金)まで

(3) 地域教育フォーラム

開催場所及び開催日	内容	お問い合わせ先
小川総合文化センター「ラポート」 10月30日(火)	実践発表、熊本フェイス学院高校校長 飛松政明氏の講演	宇城教育事務所 TEL:0964-32-3042
玉名市民会館 10月13日(土)	実践発表 アナウンサー 小出史氏の講演	玉名教育事務所 TEL:0968-74-2301
山鹿市菊鹿公民館 11月11日(日)	中学校生徒会等の実践発表 県立教育センター 戸田俊文氏の講演	鹿本教育事務所 TEL:0968-44-2442
合志市総合センター「ヴィーブル」 11月17日(土)	小中学校の実践発表 画図幼稚園長 後藤和史氏の講演	菊池教育事務所 TEL:0968-25-4237
阿蘇市立阿蘇北中学校体育館 11月10日(土)	小中学校の実践発表 シンポジウム	阿蘇教育事務所 TEL:0967-22-5544
御船町カルチャーセンター 11月17日(土)	熊本大学教育学部教授 吉田道雄氏の講演 シンポジウム	上益城教育事務所 TEL:096-282-2111
パトリア千丁 12月11日(火)	元第一福祉大学人間社会福祉学部教授 横山正幸氏の講演	八代教育事務所 TEL:0965-33-3111
つなぎ文化センター 11月4日(日)	実践発表、熊日NIE推進室長 越地真一郎氏の講演	芦北教育事務所 TEL:0966-82-3111
あさぎり町須恵文化ホール 10月31日(水)	実践発表、椎葉綾心塾長(元宮崎県教育庁 教育調整監)綾部正哉氏の講演	球磨教育事務所 TEL:0966-24-7775
松島総合センター「アロマ」 11月18日(日)	実践発表、熊本県教育庁 石井二三男 総括教育審議員の講演	天草教育事務所 TEL:0969-22-4775

詳しくは熊本県教育委員会ホームページをご覧ください。
<http://www.higo.ed.jp/kyouikuinkai/index.phtml>

11月1日は「くまもと教育の日」です

県教育委員会では、学校、家庭、地域社会の教育力を高めるため、平成17年度、毎年11月1日を「くまもと教育の日」と定めました。
今年度も10月から11月までの取組期間を中心に、「くまもと教育の日」フォーラム、地域教育フォーラム、フォトコンテスト等を実施します。市町村教育委員会をはじめとする関係機関や学校におかれても、学校開放や地域の方々との交流など、ひきつづき積極的な行事の取組みをお願いします。

お問い合わせ先
県教育庁
教育政策課政策班
☎096(333)2673
FAX096(334)1509
E-mail:kyouikuseisaku@pref.kumano.to.lg.jp

創／学校

特別支援学級、特別支援学校における読書活動の取組み

パネルシアターで楽しむ本の世界

熊本市立春竹小学校 校長 平野 君代

本校では、朝の全校読書や国語の時間の読み聞かせを積極的に行っています。また、地域や保護者の方による「おはなし会」も、子どもたちが心待ちにしている時間になっています。

特別支援学級に通う七人の子どもたちも、みんな本が大好きです。そこで、七人の子どもたちが、より主体的に本の世界を楽しむことができるように、パネルシアターに取り組んでいます。

どの本がよいか

題材は、子どもたちが大好きな本の中から、子どもたちが選びます。本の選択が、その後の活動意欲に大きく影響するので、子どもたちが納得するまで話し合います。

より深まる物語への思い

本が決まると、不織布に絵を描き、色を塗ります。子どもたちが一番好きな活動です。登場人物の気持ちを想像しながら描くことで、子どもたちの物語への思いがさらに深まります。

みんなで楽しむ

できあがったら、パネルシアターで、本の世界を楽しみます。



パネルシアターを楽しむ子どもたち

パネルシアターによって、子どもたちは、意欲的に音読を何度も行い、場面や登場人物の心情への理解を深めることができました。また、パネルは作品として、校内や熊本県児童発表大会会場に展示し、通常学級の子どもたちと、好きな本について教え合うきっかけにもなりました。

これからも

物語ばかりではなく本の選択を工夫することで、数や曜日、言葉の理解等、日常生活と結びつけ、自立への歩みを進めたいと考えています。

さらに、通常学級との交流学习で発表を行い、子どもたちの自尊心を高めていきたいと考えています。

子どもたちの豊かな読書環境のために

熊本県立菊池養護学校 校長 岡野 満

図書室への興味関心を高める

本校では、児童生徒会活動の図書委員会と連携して、児童生徒が図書室への興味関心を高められるようにしています。

図書室には県立図書館の「巡回・配本業務」やリサイクルフェアの本も活用し、児童生徒の興味関心の高い児童図書や絵本、仕掛け絵本、型はめシエイブブック、ビデオテープ、DVDなどをそろえています。



図書室設営の様子

※デジタル絵本や仕掛け絵本等をそろえた居心地のいい図書室作りが効果を上げています。

図書室の本を利用する子どもの姿

子どもたちの中には、図鑑を借りて、カプトムシの成長を図鑑の説明と見比べながら熱心に飼育に取り組んだり、エンジヨイタイム(総合的な学習の時間に図書室に行き、好きな本を選んで給食後や帰る前の時間によく読んでいたりしています。また、教材として作製し

おはなし会の実施

小学部に月一回、「熊本市子どもの本の研究会」をお招きし、おはなし会を実施しています。(読み聞かせ、大型絵本、ペープサート、エプロンシアター等児童はとも楽しみにし、熱心に見入っています。

たデジタル絵本(絵本を音声と絵を編集してテレビ画面に出し、画面をタッチすると次々に話の内容が進んでいく)を、肢体不自由のある生徒、聴覚障害のある生徒がパソコンを使って活用しています。生徒は自分で画面をさわって楽しんでいます。



おはなし会の様子

家族・地域のきずなを再生する国民運動

子どもを育てる家族の素晴らしさや価値が国民に再認識される必要があるというところから、政府の「少子化社会対策会議」において、「家族・地域のきずなを再生する国民運動」を展開することが決定されました。

これを受けて、内閣府において、地方公共団体、民間の関係団体、有識者等と幅広く連携・協力し、各種の行事の開催や広報、啓発などの取組を推進するとともに、子どもを家族が育み、家族を地域社会が支える社会であってこそ、少子化に係る各種支援施策が効果を発揮するとの視点に立ち、「家族の日」及び「家族の週間」が定められました。

家族の日

11月の第3日曜日
平成19年11月18日(日)

家族の週間

家族の日の前・後1週間
平成19年11月11日(日)～24日(土)

お問い合わせ先
県教育庁
社会教育課社会教育振興係
☎096(333)2608